

電気代を
削減
したい

環境経営に
取り組み
たい

今すぐはじめよう 自家消費型太陽光発電

2023.5月 (Ver.1)

災害に
備えたい



再エネ由来
電気を
使いたい



リープтонエナジー（株） 会社概要

会社名	リープтонエナジー株式会社 Leapton Energy Co.,Ltd.
設立年月	2012年7月
資本金	4億9,999万円
主要取引銀行	みずほ銀行 / 三菱UFJ銀行 / りそな銀行 / みなと銀行 他
本社	神戸市中央区相生町1丁目2番1号 東成ビルディング6F
東京支社	東京都港区新橋3丁目5番10号 新三ビル6F
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材（架台・基礎杭）の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス

リープトンエネルギーについて

■ 自社工場製造による厳格な品質管理

太陽電池モジュール工場



年間生産能力 2GW/年

※2023年8月には3.5GW規模まで拡大予定

- 最新設備によってオートメーション化された自社工場で大量生産を実現
- 高品質パネルを魅力的な価格でご提供

アルミ架台工場



年間生産能力
架台：250MW フレーム：500MW



- 開発～設計～製造まで一気通貫体制
- 様々な立地・気象条件でも最大のパフォーマンスを発揮する架台をご提案可能

- 2012年設立(11年目)
- 日本含む世界44カ国で営業展開
- モジュール/架台製造の自社工場（中国）
- 必要なものが一度に揃う、システムでのご提案

- 米国Bloombergが四半期ごとに発表
- 「Tier1 = トップクラス」であり、優良メーカーの証

まだまだ若いですが、
元気な日本企業です！！



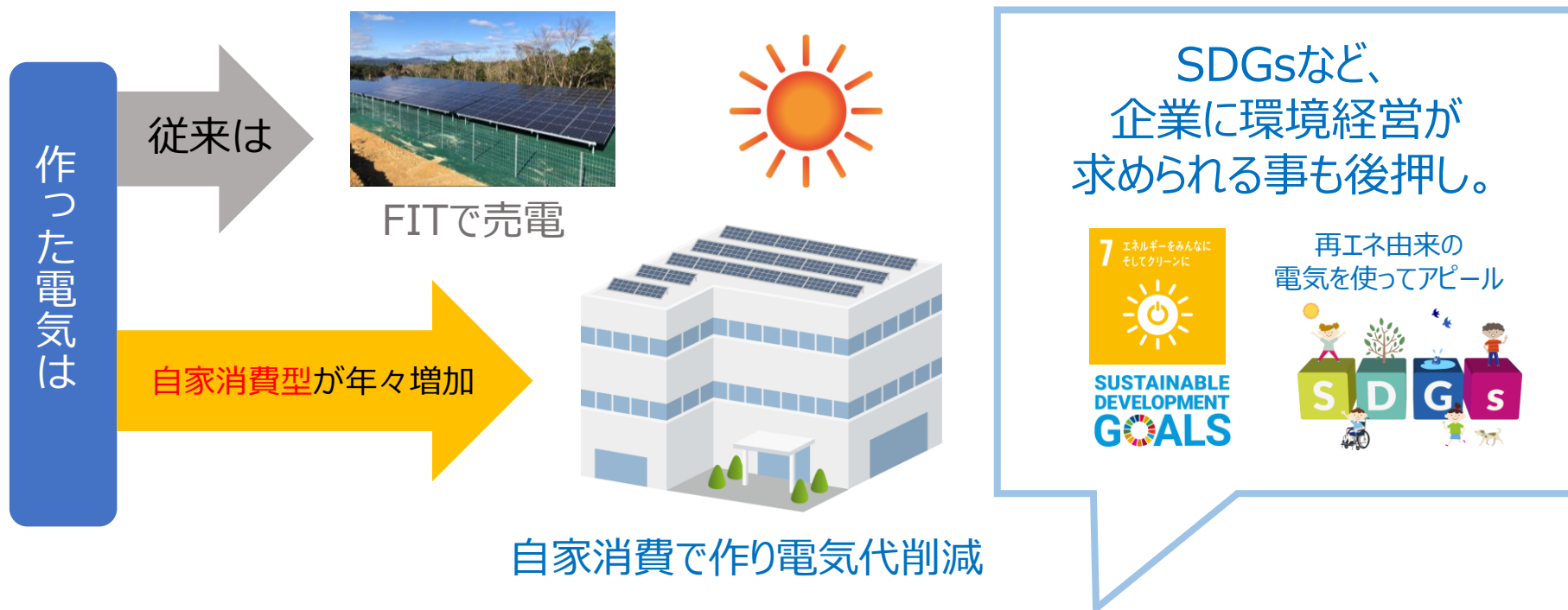
日本メーカーは**SHARP**とリープトンエネルギーだけ！

A gold circular badge with a laurel wreath border. Inside the circle are three stars and the text "Tier1". Below the circle is a red ribbon banner with the word "SELECTED" in white capital letters.

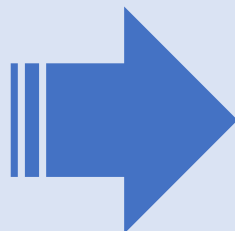
世界の有名PVメーカーが
👑 選出されています 👑

なぜ今、自家消費型太陽光発電なのか？

■ 太陽光発電は太陽光を使用して電気を産み出します



(今まで)
電気を作り
高値で売る



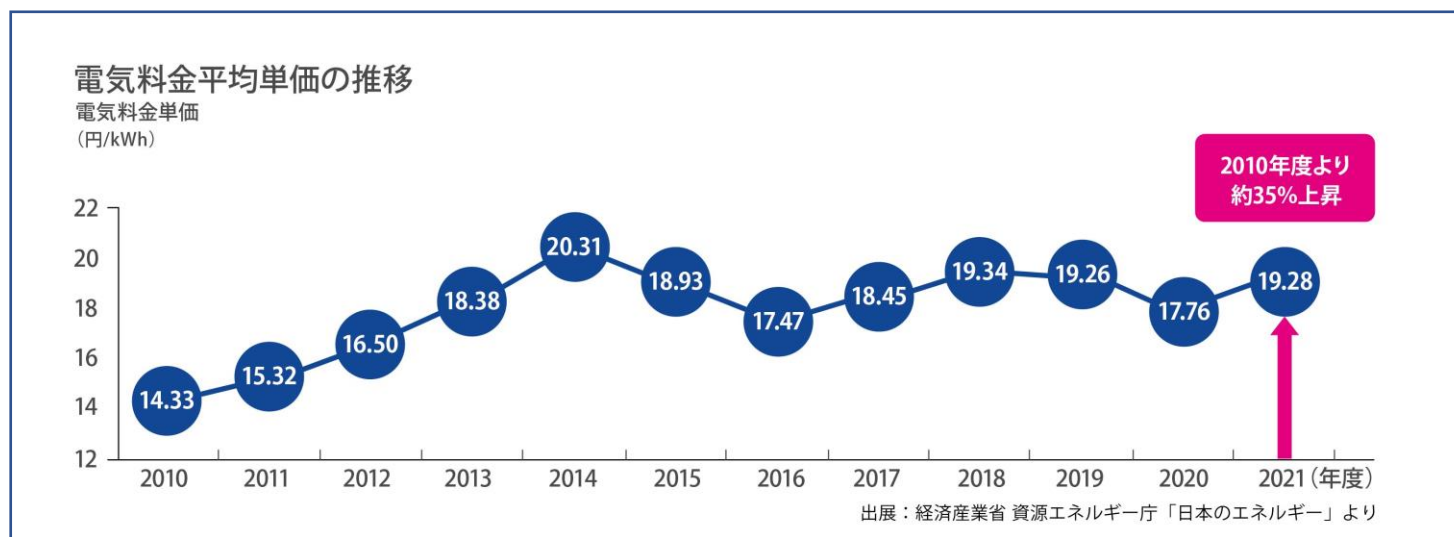
(これから)

自家消費でコスト削減

【理由1】上がり続ける電気料金

■ 世界的な電気量金の高騰が止まらない

新型コロナウイルス感染症により停滞した世界経済が回復に向かう中、天然ガスを始めとしたエネルギー需要が大きく増加。さらに追い打ちをかけるように2022年2月のロシア軍によるウクライナ侵略がエネルギー市場の安定と世界経済を根底から揺さぶりました。

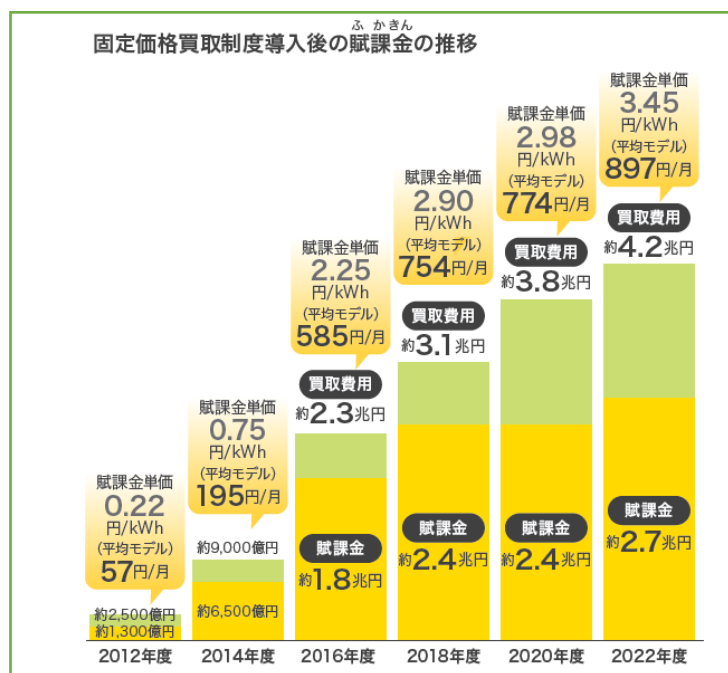


電気代高騰は世界レベルで起きている問題

【理由1】上がり続ける電気料金

■ 電力賦課金も見逃せない

再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT法）」で定められている、太陽光や風力といった再エネで発電した電気を買う取るための料金である電力賦課金も上がり続けています。



もはや企業努力で解決できるレベルではない

【理由2】自然災害の増大

地震や水害など、自然災害も多発しています。

2022年に発生した主な自然災害

総務省消防庁「令和4年災害情報一覧」より
※2022年11月30日段階、事故ならびにミサイル情報を除く



出展：2022年に発生した主な自然災害（ソニー損保広報資料より）



予期せぬ停電で、
事業が継続できなくなる恐れ

企業のBCP対策（事業継続計画）の必要性

【理由3】脱炭素への潮流

■世界的な脱炭素取り組みの増大

パリ協定を踏まえて、世界122の国・地域が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指しています。アメリカもパリ協定に復活し、日本政府も「**2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする**」と表明しており、企業としての取り組みも課題となっています。



■サプライチェーン全体での脱炭素化の動き

日本企業の中でも、サプライヤーに排出量削減を求める企業が増加。



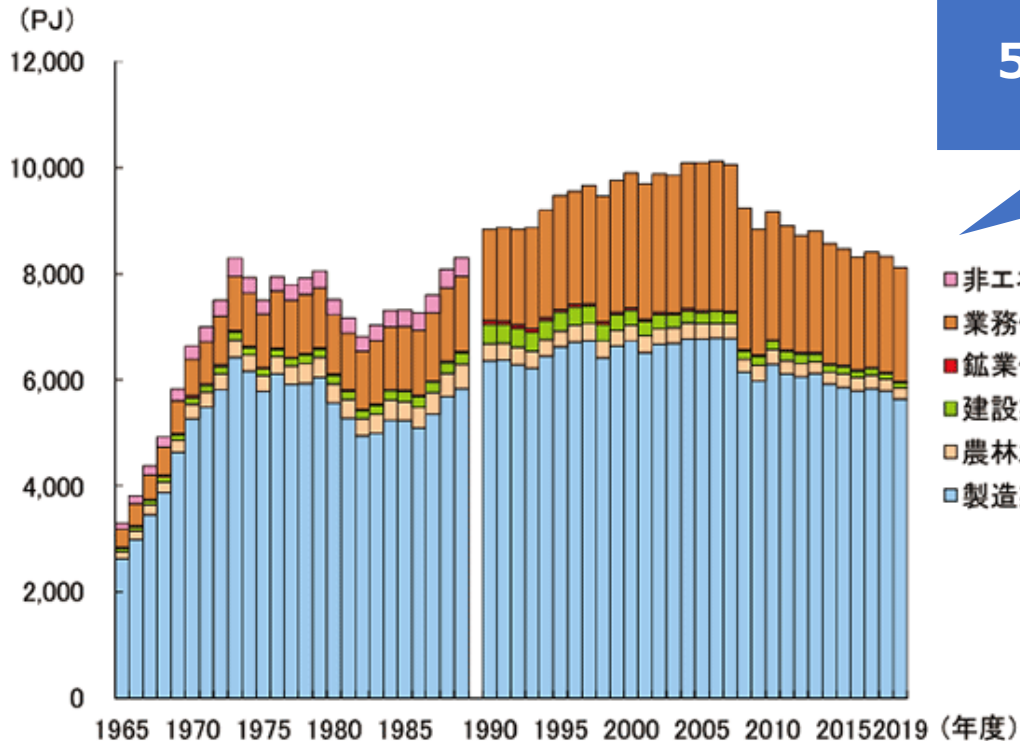
AppleのCO2排出量の74%を占める製造工程の再エネ転換に向けて、2015年からサプライヤー・クリーンエネルギープログラムを開始。

企業名	Scope 3 に関する目標設定
ナブテスコ	主要サプライヤーの70%にSBTを目指した削減目標を設定させる
大日本印刷	購入金額の90%に相当する主要サプライヤーに2025年までにSBT目標を設定させる
第一三共	主要サプライヤーの90%に削減目標を設定させる
イオン	購入した製品・サービスからの排出量の80%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる
住友化学	生産重量の90%に相当するサプライヤーに科学に基づくGHG削減目標を策定させる

出展：環境省 第19回 地球温暖化に関する中部カンファレンス（2020）より

大小問わず、企業に環境経営が求められる時代

エネルギー消費の動向（産業用）



出展：環境省 エネルギー白書2021より

日本における電気の消費量の
50%は製造業などが占めている



企業（工場）の再エネへの切り替えは必至

【重要】電気代変動(上昇)の対応が喫緊の課題

自前で電源用意 ⇒ 電気代リスクのヘッジ



■ こんなところに設置できます



工場屋根・敷地



商業施設の屋根



ソーラーカーポート

自家消費型太陽光発電導入のメリット

電気代の削減

屋根に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を自社で消費することで、電力会社から購入する電気代よりも安く発電でき、長期的に起こるであろう、電気代高騰への対策としても有効となります。



非常用電源

近年、全国各地の自然災害は増加傾向にあり、新型コロナウイルスの流行で避難所へ行くことも躊躇されます。自立運転機能付のパワーコンディショナがあれば、非常時に太陽光発電で作った電気を使えるので、防災対策になります。

BCP対策



企業イメージUP

パリ協定を機に、企業が脱炭素経営に取り組む動きが加速しています。再生可能エネルギー由来の電力を使用し、SDGsへの取り組みが認知されれば、企業イメージの向上につながり、社員の働き甲斐や生産性向上につながります。



省エネ効果

屋根上に設置した太陽光パネルの遮熱効果で省エネ効果が見込めます。パネル部分とパネル無し部分では最高で約10℃以上の温度差があり、パネル設置が省エネにつながります。



敷地の有効利用

屋上に設置した太陽光施設の設置面積相当分が、国が定める工場立地法内で、環境施設面積に算入できることにより、工場の新設・増設時に敷地の有効活用が期待できます。



節税対策・補助金

中小企業経営強化税制を活用することで、設備導入費用を100%即時償却[※]、または取得価格の10%の税額控除ができるので、節税対策としてのメリットを見出せます。導入に対する国からの補助金制度も活用すれば、導入のハードルも下がります。



※ 資本金3,000万円超、一億円以下の法人は7%

自家消費型太陽光発電の導入方法はさまざま

自社所有モデル

自社で自家消費型太陽光発電を導入



メリット

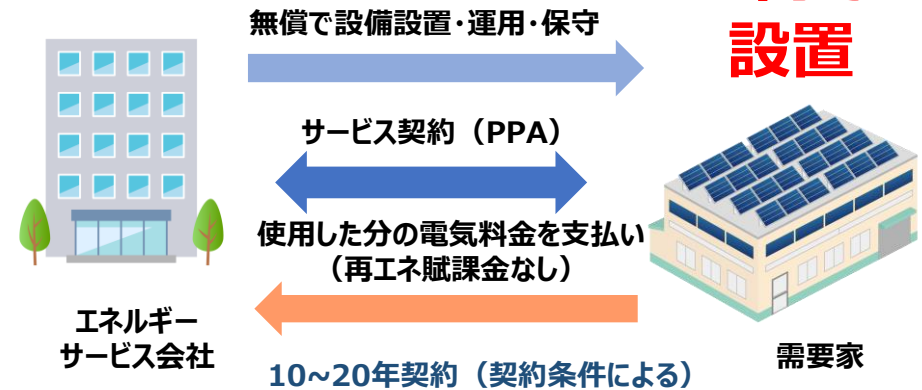
- 電気代の削減
- CO2を排出しない電気の使用
- 非常用電源の確保（BCP対策）
- 省エネ効果（屋根設置で遮熱効果）
- 節税対策・補助金活用

デメリット

- 初期費用がかかる

他社所有モデル

初期費用
0円で
設置



メリット

- 初期費用がかからない
- 補助金の活用ができる
- 再エネ賦課金がかからない
- メンテナンス不要
- 契約満了後、システムが譲渡される

デメリット

- 導入企業が中長期的に存続が可能か審査が必須
- 補助金は必ずしも採択されるとは限らない
- 契約期間が長い

モデルケース（自社所有モデルの場合）

■モデルケース【モデル事例】中部電力ミライズ「高圧電力第二種プランH」

システム容量	初期導入費用※税込	年間発電量（予測）	17年間発電量（予測）
225.0kW	3,950万円	247,500kWh	3,979,864kWh

発電した電気をすべて
使うと想定し

1年間で

電気代削減額
455万円

STOP温暖化!



CO2削減量
約**1,590**トン

※ 中部電力料金単価、7-9月：19.62円・10-6月：18.62円で算出しています。また、再エネ賦課金3.36円を含んでいます
※ シミュレーション上の数値であり、設置条件等により結果を保証するものではありません

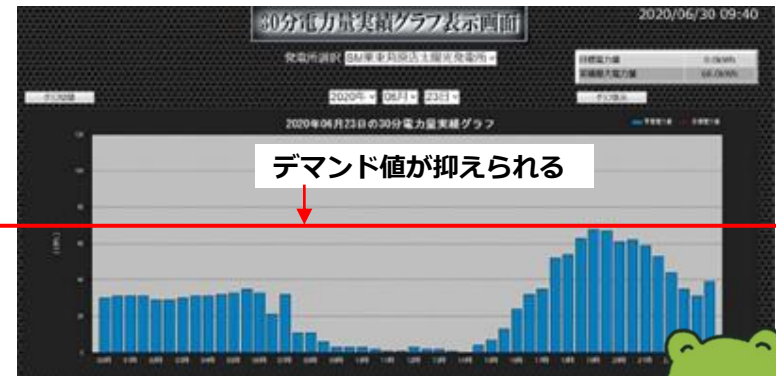
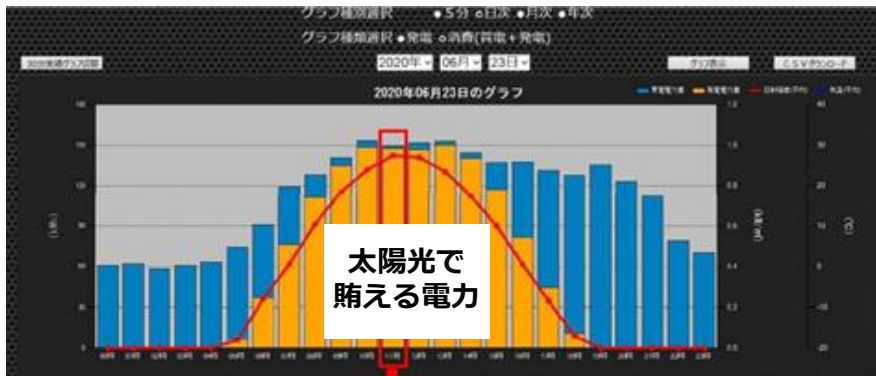
約8年間で初期導入費用を償却できます。

電気代削減のイメージ

一年を通じて最も高い電力が発生する瞬間（デマンド値）

デマンド値により月々の電気料金が決まる。

太陽光発電の導入でデマンド値を抑えれば、電気料金を削減することも可能になります。



※太陽光の電力部分を削除した図

デマンド値を抑える＝電気料金の削減



導入までの流れ

お見積りから工事までの流れは下記の通りとなります。

導入までの流れ —— ご相談から運転開始まで3～5か月ほどで導入可能です。

STEP 01

無料簡単
シュミレー
ション



STEP 02

お打ち
合わせ



STEP 03

ご提
案



STEP 04

ご契
約・各
種手
続
き



STEP 05

工
事
開
始

1週間～1か月想定

1か月～3か月想定

1か月想定



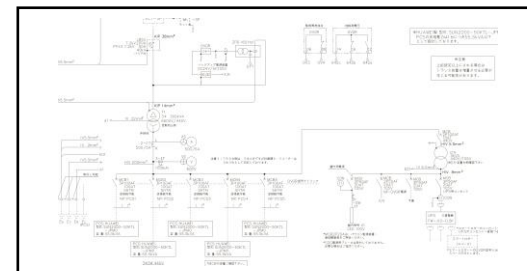
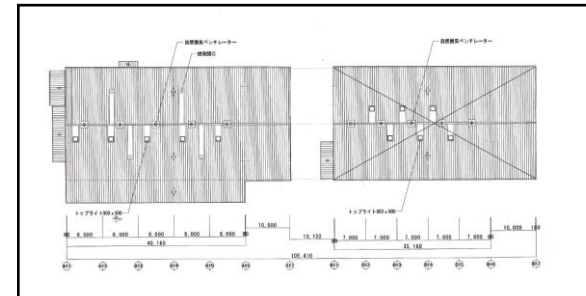
すべてのお客様

毎月の電気料金等が記載された請求書をご用意ください。
現在ご利用の電気の利用状況を確認させていただきます。



法人様（現地調査）

屋根の状況を確認するため、施工担当者がお伺いします。
調査結果に基づき、最適なプランをご提案させていただきます。



施工実績

■コープこうべグループ



■コープデイズ神戸西店

使用パネル：LP156*156*M-72×440枚

発電容量：158.4kW

年間発電量：196,485kWh

担当者からのコメント

複数メーカーで比較検討しましたが、品質と価格のバランスが最も良く、設置後のパフォーマンスも良好。設計時のシミュレーションを、いずれも10%近く上回っています。



■コープデイズ豊岡店

使用パネル：LP156*156-M-72×576枚

容量：207.36kW



■コープデイズ西明石店

使用パネル：LP156*156-M-72×132枚

発電容量：47.52kW

施工実績



●その他、大手コンビニチェーン、スポーツ施設など多数実績があります。

神戸で生まれた太陽電池モジュールメーカー リープトンエネルギー

